

小松島市ごみ処理施設整備基本構想（案）に対する

パブリックコメントの実施結果について

1	意見募集案件	小松島市ごみ処理施設整備基本構想（案）
2	意見募集期間	令和6年1月23日（火）～令和6年2月13日（火）
3	閲覧場所	市ホームページ 市役所1階総合案内 市役所1階市民環境課窓口
4	意見提出方法	郵送、ファクシミリ、電子メール、直接持参
5	意見提出者数	2名
6	意見提出件数	4件
7	意見の内容と市の考え方	別紙のとおり

※なお、いただきましたご意見についての個別回答はいたしません。

意見の内容と市の考え方

No.	件	意見の内容	市の考え方
	1	<p>事業方式について</p> <p>市民にゴミの減量を訴えなければならない市が、施設の維持のためにゴミの量の確保に奔走するという事があってはなりません。それを前提とした事業方式を選択してください。ゴミ減量行動と施設経営が矛盾しないことが大切です。</p>	<p>令和4年10月20日に行いました「ごみ減量宣言」に基づき、引き続きごみの減量化施策に取り組んでまいります。</p>
1	2	<p>固形燃料の引き受け企業について</p> <p>企業にとって燃料の安定した量と質の確保は不可欠でしょう。その点でゴミ減量を使命とする自治体との取りひきが企業にとって得策となるのかどうかは一考を必要とするでしょう。ともあれかなりの量の固形燃料が生産されるのですから、利用する企業を模索しなければなりません。その上で別の利用法の追求ないしは焼却処分の道も覚悟し、民間企業への買取依頼契約を結ぶこともあり得るのではないかと思います。それでは焼却路線と一緒にはないかと思われるかもしれませんが、最初から焼却するよりはるかにましです。半分以下になります。</p>	<p>好気性発酵乾燥方式での可燃ごみ処理施設を整備するにあたり、固形燃料の受入先確保は避けては通れない課題です。引き続き、二酸化炭素排出削減に係る社会情勢や技術革新を注視する中で、民間企業の動向について把握に努め、安定的な受入先の確保に取り組んでまいります。</p>
	3	<p>11.3 災害廃棄物処理について</p> <p>新施設が災害時に「廃棄物処理において処理対象物に制約がある」とデメリットであると述べられているが、新施設に何を期待しているのでしょうか？ 焼却？ 迅速な復興のために？ それならば新施設を決断した精神は何だったのでしょうか？ 災害時のことを考え焼却できる施設をメリットと考えるのであれば、平時において一般廃棄物処理施設が新施設である必要性は微塵もありません。むしろ災害時に発生する大量の廃棄物を焼却することなく処理する道を平時にこそ考え抜くことが大切なのではないですか？</p> <p>「廃棄物処理において処理対象物に制約がある」という考えの根底に流れる思想にメスを入れてください。</p> <p>災害時には大量の廃棄物が出てきます。</p>	<p>災害廃棄物の処理は、災害の種類や規模により、その対応が大きく異なってくることが想定されます。新施設は可燃ごみ処理施設だけでなく、リサイクル施設も整備する予定としておりますが、新施設の役割と小松島市災害廃棄物処理計画に基づく仮設焼却炉等による対応、広域処理等について、計画の改訂に取り組むとともに、民間企業を含めた広域連携についても先進自治体の事例を調査・研究してまいります。</p>

		<p>処理どころか差し当たっての置き場にすら困ります。それも分別できていませんし、日々その量は増える一方です。「燃やせるものは片っ端から燃やせ！」と言いたくなる。しかしそうなったのでは一切の努力は水の泡、それでは脱炭素のために取り組んできた努力は無駄。我々の住む世界に未来はなくなるのです。解決策を見つけ出さなければなりません。どんなに大変でも。</p> <p>平時における一般廃棄物処理施設についてしっかり対策を考え、やり抜き、それとは別個に独立して、災害発生時のゴミ処理問題を考えるべきでしょう。その災害時のゴミ処理問題として既存のあらゆる施設、道具、機械、などなどすべての動員を考えるべきで、その一つに廃棄物処理施設があるという程度に考えるべきでしょう。廃棄物処理施設だってその使用目的に限定せず、避難所、仮診療所、など多目的に考えるべきです。トンネルコンポストだって、数個の頑丈な発酵施設を保有するのだからゴミ処理に限定して考えるべきではないかもしれません。災害時は総力戦です。人命第一に、そして日常の早急な回復を目指して総動員、総力、総がかりの大作戦です。</p> <p>だからこそ、平時にあらゆることを考え抜き、対策を講じなければならないのです。決して猶予はありません。準備万端とは決して言えない。それどころかのんびりし過ぎているというのが印象です。災害がれきの保管場所、トイレ問題、食料・水の確保問題、避難所、医療体制の確保、寸断された道路問題、などなど数え上げればきりがありません。</p> <p>でも今は一般廃棄物処理施設の問題です。日常のです。毎日の生活から出る廃棄物の処理施設です。徹底してください。</p>	
2	4	<p>市が勝浦町との連携も視野に入れて、単独整備の方向に英断されたことに感謝いたします。そして、地球温暖化の危機的進行に歯止めをかける目的を念頭に、生ごみを燃やすことなく、発酵する力を利用するトンネルコンポスト方式を採用されたこと、その判断に敬意を感じています。</p>	<p>好気性発酵乾燥方式については、国内での事例が少なく、広く知られた方式ではないため、今後も情報発信に努めてまいります。</p> <p>説明会につきましては、住民の皆様にとってわかりやすいものとなるよう、改善に取り組んでまいります。</p>

	<p>今回の事業が多くの方の住民をまきこむ市民の事業となるように心から願っています。ただ、住民説明会に参加して思った感想は、残念の一言。住民への説明内容、質問に対する答える中身、あまりにもお粗末で、しかも全く熱意が感じられませんでした。住民に対して、形だけのアリバイ作りにとどまるつもりであるなら、その姿勢はあらためていただきたいものです。</p> <p>ゴミは住民ひとりひとりがかかわり、協力を住民にもとめてはじめて成り立つ事業です。この方式が有意義な処理方式であることを、もっと情熱をこめて、地球の未来をみすえての事業であることを訴え続けて下さい。</p>	
--	--	--